

<No18 : 写真測量>

次の文は、無人航空機（以下「UAV」という。）で撮影した空中写真を用いた公共測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 使用する UAV は、安全確保の観点から、飛行前後における適切な整備や点検を行うとともに、必要な部品の交換などの整備を行う。
2. 航空法（昭和27年法律第231号）では、人口集中地区や空港周辺、高度150m以上の空域で UAV を飛行させる場合には、国土交通大臣による許可が必要となる。
3. UAV による公共測量は、地表が完全に植生に覆われ、地面が写真に全く写らないような地区で実施することは適切でない。
4. UAV により撮影された空中写真を用いて作成する三次元点群データの位置精度を評価するため、標定点のほかに検証点を設置する。
5. UAV により撮影された空中写真を用いて三次元点群データを作成する場合は、デジタルステレオ図化機を使用しないので、隣接空中写真との重複は無くてもよい。